

## 第2学年1組 国語科学習指導案

1 単元名 読んで考えたことを 話そう 「どうぶつ園のじゅうい」

### 2 単元設定の理由

#### 【児童について】

- 本学級の子どもたちは、1学期に「たんぼぼのちえ」でたんぼぼの成長過程の変化に注意しながら読み進め、時間的な順序にそって様子と理由を読む学習を行っている。また、時を表す言葉や訳を表す言葉に注目して読むことで、自分の考えを友だちに伝えることができるようになっている。そこで、説明の順序を押さえながら、文章の構造を大まかに把握することができつつあるこの期に本単元を取り上げる。そして、文章全体の内容の把握と各段落に書かれている内容の把握ができるようにする。

#### 【教材について】

- 本単元は、時間的な順序を考えながら内容の大体を読み取り、自分の知識や生活経験と比べながら感想をもち、話すことができる能力を育てることをねらいとしている。また、主語・述語の関係を見付けることで、文章の中の事実と訳を読み取ることをねらいとしている。
- 本教材は、動物園の獣医の一日の仕事について、日記のように時間を追いかけて書かれているため、時間的順序を捉えるのに適している。また、子どもたちの好きな動物の自分が経験したことがある病気やけがの治療について書かれているため、内容の把握に適した教材である。
- 本単元に関しては、第1学年の「じどう車くらべ」で、事柄の順序にそって「しごと」のための「つくり」になっていることを読み取る学習をしてきている。本単元では、これらの上で、時間の順序にそって動物園の獣医の一日の仕事が、動物が元気に暮らすことができるために必要である訳を読み取っていく。このことは、3学年「すがたをかえる大豆」の中心となる文を捉え段落相互の関係を考えながら読む学習へと発展していく。

#### 【単元全体では、こんな表現活動を】

- 本単元では、動物たちが元気に暮らすために動物園の獣医さんがどんな仕事をしているのかを読み取っていく。そのために、主語と述語の関係を捉え、叙述から獣医さんの仕事と工夫、その訳について自分の考えをつくりペアや全体で交流していく。そして、自分の経験と比べながら獣医さんの仕事について「すごいな」や「初めて知った」など学習したことをお手紙に書くことができるようにする。

#### 【本時（4/12）では、こんな表現活動を】

「いつ」「仕事」「工夫」「訳」をノートに色分けして書き、整理していく。「にほんざる」が元気に暮らすために、獣医さんがどんな仕事や工夫をしているか、その訳を読み取り、ペアや全体で交流していく。また、自分の経験と比べて獣医さんにお手紙を書くことでより理解を深めることができるようにする。

### 3 目標

- 時間を表す言葉や主語と述語の関係を捉えることで、獣医の仕事や工夫、その訳を読み取ることができるようにする。 (知識及び技能)
- 各段落に書かれている動物園の獣医の仕事について、重要な語や文を選び文章全体に何が書かれているか捉えながら読むことができるようにする。 (思考力、判断力、表現力) 【読むこと】
- 時間的な順序が分かるように、自分の学校での生活について誰が何をしたか、何があったかに気を付けて書いて、家の人に伝えようとする態度を育てる。 (学びに向かう)

4 単元計画 (全12時間)

	学 習 活 動	主 な 支 援
つ か む ①	<p>1 教材文と出会い、単元のめあてと学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題名読みをして、初発の感想を書き、単元のめあてをつかむ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>単元のめあて じゅういさんはどうぶつが元気になるために、どんな仕ごとやくふうをしているか読みとろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読みのめあてを持たせるために、P105の挿絵を使いながら、題名読みや初発の感想の交流する場を設定する。</li> </ul>
つ く る ⑦	<p>2 時間の順序に気を付けて、獣医の仕事や工夫とその訳を読み取る。</p> <p>(1) 獣医の朝の仕事を確認し、仕事とその訳や工夫を読み取る。(朝のしごと)</p> <p>(2) ③段落を読み、獣医の仕事を確認し、仕事とその訳や工夫を読み取る。(いのしし)</p> <p>(3) ④段落を読み、獣医の仕事を確認し、仕事とその訳や工夫を読み取る。(にほんざる) (本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 誰が何をしたか、主語・述語を確認する。</li> <li>○ 獣医さんの仕事と工夫を読み取る。</li> <li>○ 仕事と工夫の訳や獣医さんの思いをノートに書く。</li> <li>○ 自分の経験と比べながら、獣医さんに手紙を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 誰がどのような理由で仕事をしているのか考えさせるために、主語と述語を確認する。</li> </ul>
本 時 4 / 12	<p>(4) ⑤段落を読み、獣医の仕事を確認し、仕事とその訳や工夫を読み取る。(ワラビー)</p> <p>(5) ⑥段落を読み、獣医の仕事を確認し、仕事とその訳や工夫を読み取る。(ペンギン)</p> <p>(6) ⑦段落を読み、獣医の仕事を確認し、仕事とその訳や工夫を読み取る。(一日の終わり)</p> <p>(7) ⑧段落を読み、獣医の仕事を確認し、仕事とその訳や工夫を読み取る。(どうぶつ園を出る前)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 獣医の仕事と工夫とその訳を叙述をもとに読み取ることができるよう、本文に色分けした線を引かせる。</li> <li>○ 自分の考えを友だちと交流できるように、交流の仕方を提示する。</li> </ul>
深 め る ①	<p>3 動物園の獣医さんの一日の仕事と工夫についてすごいなと思ったことなどを友だちと交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎時間、学習の振り返りに書いた「獣医さんへのお手紙」を読み返し、獣医さんの一日の仕事と工夫についてすごいなと思ったことを友だちと交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 獣医さんの仕事が、動物を元気にするためということさらさらに深めることができるように、これまでの学習ノートを準備し、自分で書いた獣医さんへのお手紙をもとに交流させる。</li> </ul>
生 か す ③	<p>4 自分や友だち、家族、先生たちなどの一日の仕事調べて「〇〇さんの一日の仕事」の文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時間の順序にそって、その人の仕事や工夫とその訳を書く。</li> <li>○ 「〇〇さんの一日の仕事」交流会をする。</li> <li>○ 学習を振り返り、まとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 誰が何をしたのか、何があったかが分かるように、主語と述語を確認しながら書かせる。</li> </ul>

## 5 本時主眼

- ④段落の獣医さんの仕事についての工夫やその訳から、薬が苦手なにほんざるのことを思って優しく手当てをする獣医さんがする3つの工夫や仕事について、自分の経験とつないで理解することができる。

## 6 準備 学習プリント・教材文・挿絵

## 7 展開

段階	学 習 活 動 と 内 容	主な支援 (※主な発問)
つかむ	1 前時学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。 ○ 前時を振り返り、学習内容を確認める。 ・「いのしし」のために獣医さんがしている仕事があった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             にほんざるのために、じゅういさんがどんな仕ごとをしてどことなくふうをしているのか読みとろう。           </div>	○ これまでの学習を想起し、どの事例も「いつ」「仕事」「工夫」「訳」が書かれていることに気付くことができるように、既習学習を掲示する。  ○ 自分の考えをつくることができるように、考えをつくる手順を提示する。
つくる	2 ④段落の獣医さんの仕事について自分の考えをつくる。 ○ 問い・いつ・仕事・工夫を読み取る。(表現活動②) ・にほんざるのけがを治すために、獣医さんはどんな仕事をするのでしょうか。(問い) ・お昼前(いつ) ・けがをしたにほんざるに薬を飲ませる。(仕事) ・えさの中に薬を入れた。(工夫①) ・バナナにはさむ。(工夫②) ・はちみつに混ぜる。(工夫③) ○ 叙述をもとにノートに書いたことを、ペアで交流して全体で確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【表現活動②の手順】</b>            ・問いをつくる。            ・主語を青線、述語を赤線で引く。            ・時を表す言葉に着目する。            ・仕事と工夫をノートに書く。            ・獣医さんの仕事の訳を考える。         </div>
深める	3 獣医さんがにほんざるのためにした仕事や工夫の訳を交流し、友だちと伝え合い読みを深める。(表現活動③) ○ 動物たちに元気になってほしいという、獣医さんの思いを考える。 ・にほんざるのけがが、早く治るように。 ・苦い味が嫌いなにほんざるが、薬を飲むことができるように。 ・えさの中に薬を入れて飲ませようとしたけれど気付かれたから、別の方法を考えた。 ・にほんざるはバナナが大好きだから、きつと食べてくれるだろう。 ・にほんざるが薬に気付かないで、楽に薬を飲むことができるように。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【表現活動③の目的・支援】</b>            全員が自分の考えを発言できるように、ペア交流の場を設定する。            獣医さんの思いをたくさん出し合うことができるように、焦点化した発問をする。         </div>
生かす	4 「獣医さんへのお手紙」を書いて本時学習をまとめる。 ○ にほんざるのために獣医さんがした仕事や工夫を知って獣医さんへ手紙を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             にほんざるが苦手な苦い薬を飲ませるために何回もやってみて、やっと飲んでくれたからよかったね。私も苦い薬が飲めなくてゼリーに混ぜて飲んだことがあるよ。だからすぐに熱がさがったよ。にほんざるのけがが早くよくなるといいね。           </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>※ 獣医さんはなぜ3回も工夫をして、薬を飲ませようとしたのでしょうか。</b>             ○ 手紙を書くことができるように、似たような自分の経験を想起させる。            ○ 考えの深まりや、友だちとの伝え合いのよさを感じ取らせるために「今日の学習で」を書く観点を示す。            ・内容について分かったこと            ・友だちとの伝え合いでよかったこと         </div>